

(説明)

「先端技術を活用した農林水産研究高度化事業」とは、いわゆる競争的研究資金制度の1つです。

本事業については、今年度から、緊急に調査研究の必要が生じた場合、年度途中からでも研究を開始できる「緊急課題即応型調査研究」を創設しました。

当該タイプについては、現在5課題を実施中ですが、今般、新たに以下の1課題を開始します。

「施設園芸における細霧を利用した新保温技術の開発」

(研究機関：栃木県農業試験場ほか1機関)

今般の原油価格の上昇に伴い、施設園芸における加温用燃料であるA重油の価格も大幅に上昇しており、施設園芸農家の収益に影響を及ぼしています。生産現場においては、二重・三重カーテンの利用などの省エネルギー技術により対応していますが、これらの技術だけでは限界があるとの声があがっています。

このため、外張りフィルムと内張りフィルムの2層構造の間に細霧を噴霧して霧状の保温層を作り保温効果を高める省エネルギー型簡易保温技術の調査研究を実施します。